

令和2年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第4四半期 (R3年1～3月)

①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町 内	売 上 額	↘☂	→☀	↗☂	↘☁	↘☾	→☂	→☂	↘☂	→☂
	仕入単価	↗☀	→☾	↘☾	↗☾	→☾	↘☾	→☾	→☾	↗☾
	採 算	→☀	→☀	↗☂	↘☾	→☀	→☂	↘☂	→☂	→☂
	資金繰り	→☀	→☀	→☂	↘☂	→☀	→☂	↗☾	↗☁	→☂
	業界の業況	→☾	→☾	→☂	↘☁	→☂	→☂	→☂	→☂	→☂
北 信		↘ 悪化		↘ 悪化	↘ 悪化		↘ 悪化	↘ 悪化		↘ 悪化
県 内		厳しい状況が続いているが、一部に持ち直しの動きがみられる								
全 国※		-52.2↗		-23.3↘	-56.5↘		-84.4↘	-54.7↗	-59.0↗	

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

県による県民割施策は効果が薄い(宿泊業)

一般管理費を削減し採算が好転した、業界は好・不況がはっきり分かれている。(食料品製造業)

歓送迎会シーズンに感染拡大が重なり昨年度より悪化した(飲食業)

《北信》

飲食店、サービスエリア等の土産品店、宿泊施設の業務用に出荷している会社は厳しい(味噌製造業)

北信地域の新築住宅の着工件数が減少している。コロナ禍の先送りと思われる(一般建設業)

新車販売は回復傾向にある。(自動車販売業)

物流は動きつつあるが、運送賃の値上げなどは思うように進まず厳しい状況である(運送業)

《県内》

生産は持ち直している。特に通信用電子部品関連は前年度を上回った。

《全国》

新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる

産業全体：2ヵ月連続での全業種が改善も先行き不透明

製 造 業：回復基調が加速も、懸念材料が残る

建 設 業：全般的な回復基調の中、小幅な改善にとどまった

小 売 業：2ヵ月連続で大幅な改善も、力強さに欠ける

サービス業：2ヵ月連続の大幅な改善も、本格的な回復には程遠い

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」